

美しい 県土づくりNEWS



2007年

8月

岩手の風景

岩手県県土整備部

手づくり広報誌 37号

平成19年8月6日発行

編集 県土整備企画室

目次

- 2 戦略的な維持管理 橋梁のアセットマネジメント
- 5 木造住宅の耐震化を促進 耐震診断から耐震改修へ
- 6 まちづくり 芸術イルミネーションパーク整備事業
- 7 現場ニュース 北山トンネル本体工事完成
- 8 現場ニュース 奥州市・釜石陸橋が切り替わりました
- 9 パートナー紹介～花巻空港緩衝緑地をつくる会の活動
- 10 市町村の動き 二戸市浄法寺地区の新たな下水道計画
- 11 トピックス まちづくり実践モデル事業の公募結果
- 12 トピックス 河川愛護団体へ知事感謝状贈呈式
- 13 カスリン・アイオン台風60年事業開催中
- 14 8月は「道路ふれあい月間」！8月10日は「道の日」
- 16 住まエネフェスタ2007と第3回住まいる講座を開催
- 17 土砂災害写真パネル展を開催します
- 19 9月10日は「下水道の日」下水の終着駅をちょっとのそいでみませんか？

仙人峠の集い（遠野市）

8月は「道路ふれあい月間」、8月10日は「道の日」です。この写真は、昨年開かれた旧釜石街道最大の難所「仙人峠」を歩いて峠越えするイベントの様子です。仙人峠道路が開通し難所は解消されましたが、先人の思いを感じるイベントです。今年も県内各地で様々なイベントが開かれます。P14に掲載。



「戦略的な維持管理」

橋梁のアセットマネジメントについて

道路環境課

○アセットマネジメントとは

アセットマネジメントとは、道路資産を計画的・効率的に管理運用することです。

【国土交通省道路局のアセットマネジメントの定義】

道路を資産としてとらえ、道路構造物の状態を客観的に把握評価し、中長期的な資産の状態を予測するとともに、予算制約の中で、いつどのような対策をどこに行うのが最適であるかを考慮して、道路構造物を計画的かつ効率的に管理すること。

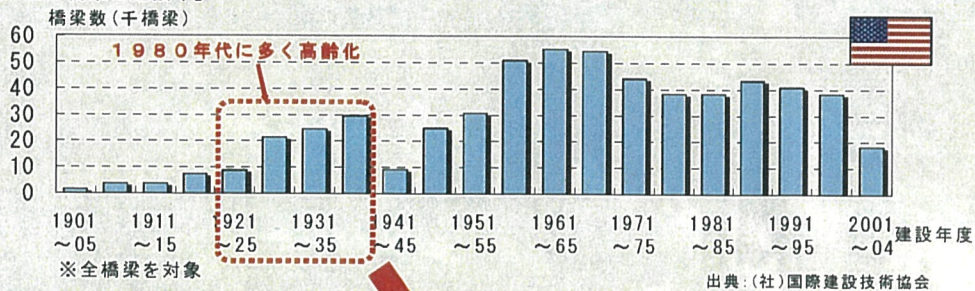
今回は、県で管理している橋梁のアセットマネジメントについて報告します。

○アセットマネジメントの必要性

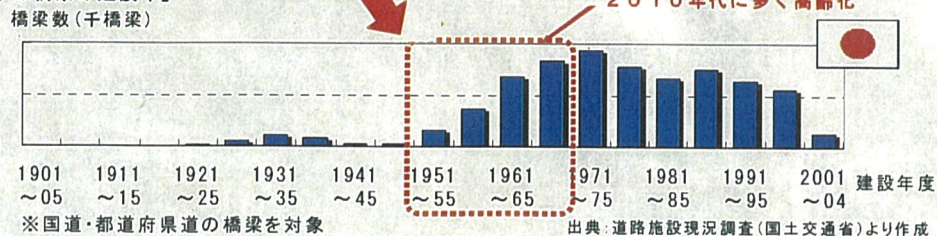
なぜ今、アセットマネジメントが必要と言われているかについて説明します。

次のグラフは、米国と日本の、橋梁の建設年のグラフとなっています。本格的な建設年が、米国が1920年代から始まっており、日本は1950年代からとなっています。

【米国の橋梁の建設年】



【日本の橋梁の建設年】



米国では、ガソリン税が据え置かれ、橋梁等の補修に十分な予算が投入されなかったため、1980年代から橋梁の倒壊等が発生し「荒廃するアメリカ」と呼ばれました。

日本は、アメリカに比べ30年ほど本格的な建設が遅れており、2010年代から橋梁の急速な高齢化が始まると予想されています。既に、全国各地で様々な損傷が発生し、通行規制を行っている橋梁もあります。

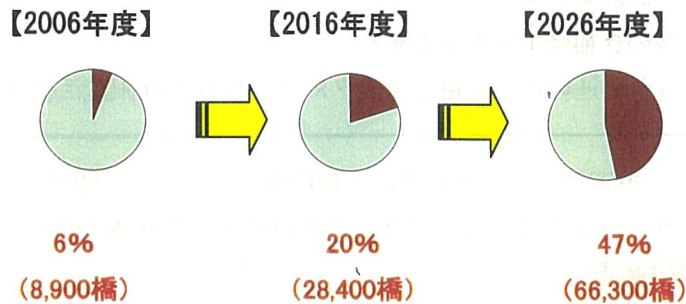
アメリカの例



日本の例



日本の50年経過橋梁の割合 ※全橋梁数は約14万橋(15m以上の橋梁)

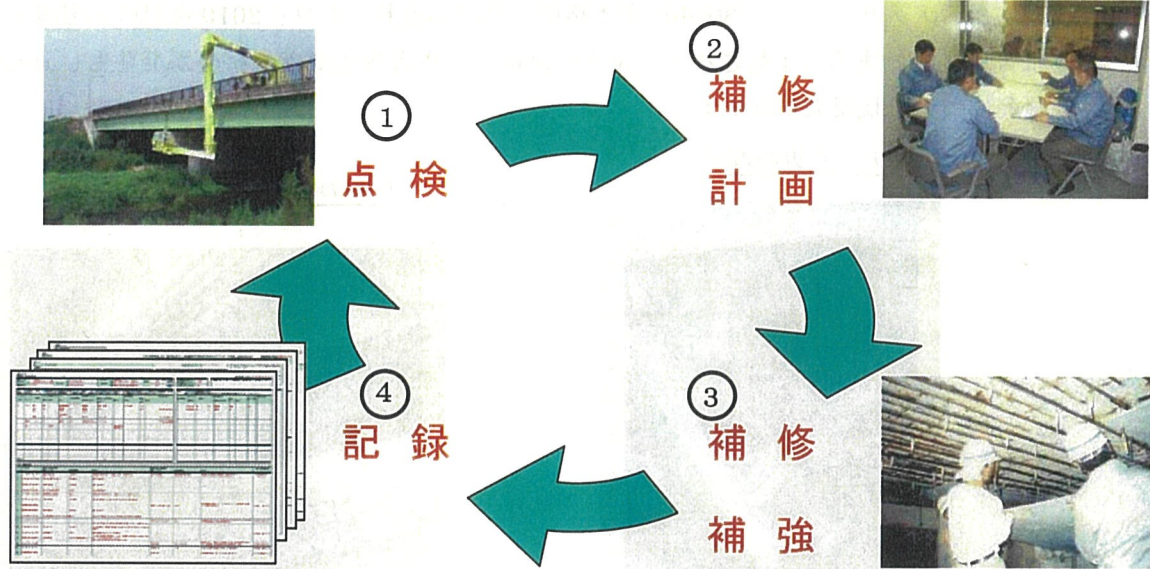


【アセットマネジメントのメリット】

道路施設の修繕及び架け替えに係る費用の縮減と施設の長寿命化を図り、地域の道路網の安全性・信頼性を確保する。

○アセットマネジメントのイメージ図

これを、図に表現しますと以下ようになります。



- ① 橋梁の点検を行い橋梁の現状の把握評価を行う
- ② その結果を受け、予算の制約の中で、いつどのような対策をどこに行うのが最適かを検討し計画を立案する
- ③ 計画に基づき補修工事を実施する
- ④ このような一連の流れを電子データにまとめ次の計画に活用する

ということがアセットマネジメントの内容となり、このサイクルを継続することで信頼できるデータを得ることができ、次の計画がより精度の高いものとなります。

○岩手県の取組状況

平成 17 年度から橋梁点検を開始しており、平成 18 年度にはマネジメントシステムを構築しました。

国では地方自治体の橋梁マネジメントの取り組みを支援するため、平成 19 年度から補助制度として橋梁の「長寿命化修繕計画策定事業」を創設しており、県としてもこの制度を活用しながら「橋梁のアセットマネジメント」の取り組みを継続し、より計画的・効率的な道路の管理が可能となるよう努めていきます。

橋梁点検 【1回/5年】	橋長 15m以上 (1,106 橋)	H17～19 (委託・直営)
	橋長 15m未満 (1,557 橋)	H20～22 (直営)
橋梁マネジメント システムの構築	諸元データの管理 (橋名・長さ・形式・建設年等)	H18～
	点検結果・補修履歴の管理	H19～
長寿命化修繕計画の策定		H19～21

安心安全

木造住宅の耐震化を促進

耐震診断から耐震改修へ

7月16日に発生した新潟県中越沖地震では、多くの古い木造住宅が倒壊し、その下敷きとなって亡くなった方がいます。過去の大地震においても古い木造住宅が大きな被害を受けることが分かっています。

耐震診断

県では、平成17年度から耐震診断支援事業を始めました。旧耐震基準（昭和56年5月31日以前の基準）により建築された木造住宅が大地震に耐えられるか判定するものです。これまでに1,310戸の住宅が診断を受け、19年度も900戸の耐震診断支援を予定しています。

これまで行った耐震診断結果では、95%が「大地震で倒壊する可能性がある」住宅であると診断されました。県内には、旧耐震基準による木造住宅が平成18年度現在で約17万戸あると想定されており、県内で大地震が発生した場合の被害の大きさは計り知れません。

(平成19年中越沖地震被害住宅写真)



1階部分が完全に押し潰されている。



完全に倒壊し、通路を塞いでしまっている。

今回の地震における被害者のほとんどは、こういった住宅の下敷きになって亡くなっています。県内で大地震が発生した場合、同様の被害を受ける住宅が多数あると考えられます。

耐震改修へ

診断を受けただけでは、耐震化にはなりません。今後予想される宮城県沖地震等への備えるためにも、「耐震診断」から「耐震改修」を進めることが、緊急の課題です。

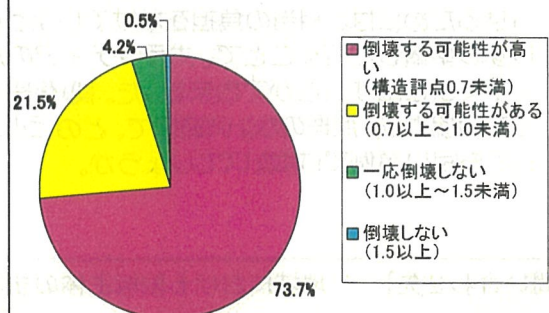
県では市町村と連携して、実際に耐震診断を実施した住民に対して、アンケートを行い、耐震改修を促進するための施策を検討します。

耐震化を進めるために、皆さんの声をお聞かせください。

アンケートに関する問い合わせ

→建築住宅課 019-629-5935

(平成17・18年度耐震診断結果)



都市計画課発!

いわての”まちづくり”って、 色んな種があるんですね。

～平成18年度「いわてまちづくり支援事業」から～

先駆的な市民団体、NPOの「まちづくり活動」を5回シリーズで紹介します。

芸術イルミネーションパーク 整備事業

特定非営利活動法人
芸術工房

■ こんな事業です(事業概要)

◇きっかけ◇

- * 北上市に平成15年にオープンした「さくらホール（北上市文化交流センター）」は、オープン以来、地域の様々な人たちに愛され、にぎわっています。ところが、周辺の散策路は、ハード面での整備は行なわれているものの、閑散としているのが現状です。
- * この団体では、この閑散とした散策路を利用して、あまり芸術に関心のない市民でも、さくらホールに来て、芸術に触れ合えるような仕掛けを何かできなかと、それによって、芸術まちづくりができないか、取り組みました。

◇事業の内容◇

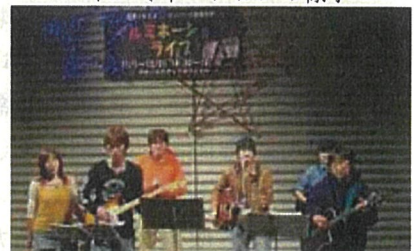
- * さくらホール散策路の並木を、市民参加のイルミネーションで飾り、普段あまりホールに来ない市民を、さくらホールに呼び込むことを目指しました。
- * イルミネーション点灯期間中（平成18年11月～12月）、これも市民参加によるイルミネーションライブを23回開催し、イルミネーションを見に来た市民と、芸術が触れ合うまちづくりを目指しました。

■ ここがこの事業のアピールポイント

- * 事業費のほぼ半分を協賛金、募金でまかないました（残り半分は県の委託料）。県内のNPO活動で、このように広く市民からの協賛を集め、事業を実施するというのは、珍しいようです。今後、このような取組みが県内各地に広がっていけば・・・と思います。
- * イルミネーションアートの作製は、ボランティアの方々の方々の作業で行ないました。色々大変な作業で、短期間で終わらせるためには、相当の負担をかけてしまうのですが、少しずつ準備して行くことで、ボランティアの方々の方々の協力を上手く引き出すことができました。関心を持っていただける方々の協力を、無理のない範囲で、どのように引き出すか、とても良い事例ではないでしょうか。



イルミネーションの様子



イルミネーションライブの→コマ

[問い合わせ先] “ 地域における地域主体のまちづくり、まち育て！”

★ 岩手県県土整備部都市計画課 まちづくり担当 電話：019-629-5892 FAX：019-629-9137

〒020-8570 盛岡市内丸10-1 E-mail: AG0007@pref.iwate.jp

<http://www.pref.iwate.jp/~hp0604/01machi/machi/machitop.htm>

現場ニュース

北山トンネル本体工事完成！

盛岡地方振興局 土木部

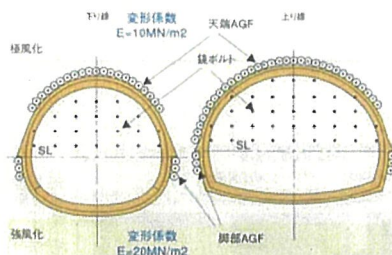
TEL 019-629-6641

平成 15 年度から施工してきた一般国道 455 号北山トンネルの本体築造工事が、平成 19 年 7 月 12 日をもって完成しました。工事中には地表面沈下や二度にわたる金額の増額などあまり良い話はありませんでしたが、無事故で無事完成しました。

都市トンネル工事として、畑や宅地など様々な土地利用状況の中での周辺環境への配慮や、予想を超えた地盤の緩さへの対応、さらに、めがね構造への挑戦など高度な技術力が必要なトンネル工事でした。

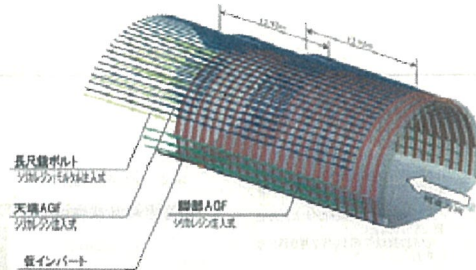
引き続き、トンネル内の照明・消火栓などの非常用設備や舗装工事を進め、平成 22 年度内の早期完成を目指しています。

メガネトンネル



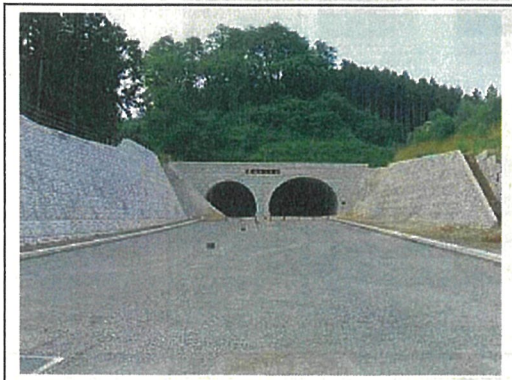
超近接区間断面図

補助工法

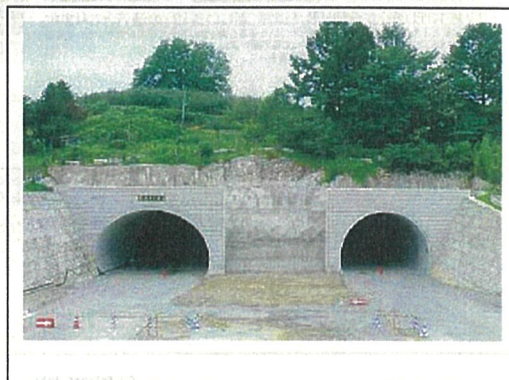


鳥瞰図

◆ トンネル入り口写真（平成 19 年 7 月撮影）



北山側



三ツ割側

奥州市・釜石陸橋が切り替わりました

県南広域振興局土木部

7月13日

水沢区佐倉河の県道佐倉河真城線車堂こ線橋（通称「釜石陸橋」）の切り替え工事を完了し開通しました。

この路線は、水沢中心部と江刺を結ぶ幹線道路で平成15年度から事業着手しました。

釜石陸橋は昭和33年の架橋で老朽化が進行しており、新しい橋に架け替えることで円滑な交通と歩行者の安全確保を図るものです。

当初の計画では、早期に整備効果が発揮されるように全面通行止めにして工事する予定でしたが、地域住民との話し合いのなかで、整備に時間はかかるものの片側の通行を確保できる上下線分割施工方法を採用して進めました。

今後は、これまで使っていた橋桁の撤去などを行い、平成20年度までに全ての工事の完成を目指しています。

また、現場では地域の方々を対象に月刊新聞を発行しており、開かれた工事現場の情報提供に取り組んでいます。

<事業概要>

- 1 事業名 緊急地方道路整備事業
- 2 工区延長 360m
- 3 事業期間 平成15年度～平成20年度
- 4 総事業費 約10億円

月刊新聞 釜石陸橋

2001.7.6

発行所 仙崎工業株式会社

一編纂者 仙崎工業株式会社

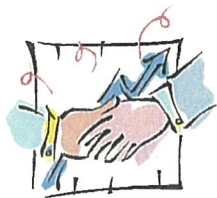
この月刊新聞は、工事現場の状況を写真やイラストで紹介し、工事の進捗や安全対策についてお知らせします。また、地域の皆様からのご意見やご要望も受け付けます。お気軽にご連絡ください。

7月13日(金)から切り替え道路(新しい道路)の通行となります。 ※切り替え工事のため、現在利用している道路と切り替え道路の間を併用しての買掛通行となりますので、交通規制員の指示に従って通行願います。 ※歩道は変更になりますので御注意願います。

全体図

SENKEN

人に、樹に、大地に。



パートナ一紹介 パートナ一紹介

～花巻空港緩衝緑地をつくる会の活動～ 花巻空港事務所

花巻空港事務所では空港周辺の緩衝緑地について、「花巻空港緩衝緑地をつくる会」（以下「つくる会」）と協働して整備・管理に取り組んでいます。

「つくる会」は緩衝緑地の整備・管理を、地域の特色を生かして地域と行政が協働し一体となって取り組むことを目的として、平成16年7月に地元の団体と関係行政機関等により組織されたものです。

緩衝緑地の事業は、「つくる会」で整備計画を検討の上で実施しており、これまで、ワークショップや植樹会などを実施してきました。今年度は空港敷地の南西にある宮野目地区においてグランドゴルフ場を8～9月にオープンする予定です。

基盤となる芝生の植生工事は昨年度に実施し、約1年が経過して立派な芝生（写真参照）となっています。この芝は「ティフブレア」といって、雑草を抑制する維持管理しやすい種類で、「つくる会」が福島県のパークゴルフ場を現地視察して選定した芝です。そのため、地域の思い入れも強く芝の生育状況の話が挨拶代わりとなっています。

今後も引き続きグランドゴルフ場や多目的広場等の整備を進めていきますが、完成後の維持管理についても「つくる会」で話し合いながら、地域にとって本当に必要で大勢の方に利用される緩衝緑地の整備を進めていきます。



【宮野目地区緑地（グランドゴルフ場）】



【芝生の植生状況】

【グランドゴルフの様子（方八丁グランド）】



市町村の動き

二戸市浄法寺町地区の新たな下水道計画

～「下水道未普及解消クイックプロジェクト」社会実験～

報告：二戸地方振興局土木部

6月25日

二戸市浄法寺町（旧浄法寺町）は、二戸地方振興局管内の市町村において唯一公共下水道計画がありませんでしたが、この度、同地区の中心市街地約65㌥が、国土交通省が実施する「下水道普及解消クイックプロジェクト」の社会実験箇所に採択されました。

このプロジェクトは、全国の下水道整備水準の地域間格差が顕著であることから、人口減少と厳しい地方財政事情により下水道整備がなかなか進まない状況にある市町村から、従来の手法に捉われない新たな整備手法や計画手法を募集し、下水道事業のコスト縮減や事業期間短縮を目的に社会実験を行い、下水道の普及を早急かつ効率的に進めるものです。二戸市の外、全国8市町がモデル都市として選定されました。

この地区は、これまで市町村設置型浄化槽による整備を計画していましたが、浄化槽の設置スペースが無い宅地や道路より低い宅地が多く、整備が遅れていました。この事業により、新たな計画手法・整備手法による効率的な公共下水道事業の早期実現を目指します。

新たな計画手法・整備手法

○ 技術・規模

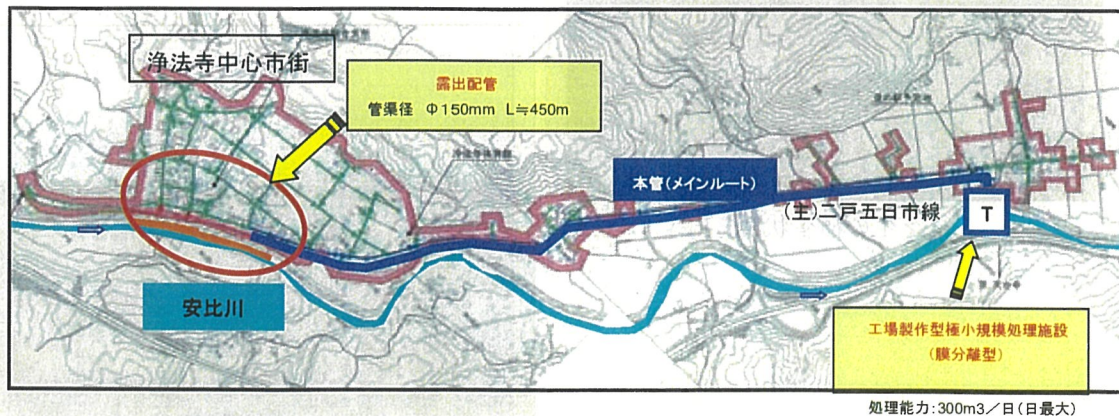
- 1) 露出配管 450m (道路の下ではなく、民地を利用して下水道管などを設置します)※
- 2) 工場製作型極小規模処理施設 (膜分離型) 300m³/日 (計画日最大)

○ 期待される効果

- 1) 露出配管：埋設工事が不要なため低コスト。民地を活用し簡易な設置・改築が可能。
- 2) 処理施設：低コストで早期の設置が可能。人口動向の変化に柔軟に対応。

○ ※懸念事項

民地の管路敷設条件の確認、人為的破損・自然災害の対応、凍結防止、高温化の下水腐敗 等



委託候補団体が決定しました！！

～ いわてまちづくり実践モデル事業の公募結果について ～

県土整備の仕事って、インフラの整備・管理だけだと思いませんか？

都市計画課まちづくり担当では、ハード整備にとどまらない、住民主体の既存市街地・集落の再活性化（＝「まちづくり」）を支援しています。

そこに住む方々の、ちょっとした気付きと工夫で、まちは大きく変わります。

平成 19 年度の企画提案募集には、7 件の応募があり、その中の 3 件を委託候補に決定しました。「レンタサイクル」、「温泉郷再生に向けた環境整備」、「地域のスポーツチームを活用したまちづくり」と、色々な「手作りのまちづくり」のモデルを、今年度作ります！

きたかみ【まちちゃり】プロジェクト・・・ NPO 法人いわて NPO-NET サポート



中心となる北上市諏訪町商店街

北上市内は、観光地や集客施設が駅から離れており、それぞれの集客施設を結ぶ公共交通機関も貧弱です。このプロジェクトでは、中心商店街の各商店が、放置自転車を修理した「まちちゃり」の貸し出しを行い、市民や観光客の利便性を向上させるとともに、中心商店街の交流人口を増やし、活力あるまちづくりを目指します。

花と文学の魅力あふれる温泉郷づくり事業・・・ 金田一温泉協会

宿泊客の低迷傾向に悩む二戸市金田一温泉郷は、今まで、行政主導で様々な再生計画が建てられましたが、いずれも実行されずに終わってしまいました。そこで今回は、地域資源（ゆかりの作家である三浦哲郎や箱庭のような地形）を生かし、自分達の手で実行可能な環境整備計画（ガーデンデザイン）を住民が主体となって作り、その実施を通して、個性と魅力にあふれるまちづくりを目指します。



三浦哲郎ゆかりの家の様子

シーウェイブス通り事業・・・ 釜石市中妻町中央通り商店会



中妻町中央通り商店街の様子

中心商店街の再活性化を、地域のスポーツチーム「釜石シーウェイブス」と協働で！！ 釜石市中妻町中央通り商店会は、地元のクラブチームを活用した、協働による街並み整備を行います。まちを元気にするためには、まちの住民が心を一つに出来る目標が必要です。

【 お問い合わせは 都市計画課 まちづくり担当まで！！ TEL 019-629-5892 】

TOPICS

河川愛護団体へ知事感謝状贈呈式

河川課

TEL 019-629-5902

7月27日（金）

県土整備部では、河川愛護思想の一層の普及を図るため、例年、河川愛護月間である7月に、多年にわたり河川環境の美化保全等に努められた民間団体や個人に対し感謝状の贈呈を行っています。

今年も、岩手町立水堀小学校リバーキッズクラブ（岩手町）、豊沢川活性化・清流化事業推進協議会（花巻市）及び古川沼をきれいにする会（陸前高田市）に対し知事感謝状を贈呈しました。



受賞団体との記念写真



岩手町立水堀小学校リバーキッズクラブ

岩手町立水堀小学校リバーキッズクラブ

（平成12年7月設立）

会長：民部田 駿 構成員：63人

平成12年から北上川源泉に近い流域の清掃を実施する「クリーン作戦」を実施しています。

また、宮城県の北上川河口の小学校との交流や「カジカの里づくり事業」など多彩な活動に取り組み、河川環境の美化保全と河川愛護思想の普及に取り組んでいます。

豊沢川活性化・清流化事業推進協議会

（平成6年6月設立）

会長：藤沼 弘文 構成員：31人

平成6年から豊沢川の大規模な清掃活動や草刈りを実施しています。近年では水質環境セミナーの開催や河川流域の豊かな自然を撮影したDVDを製作するなど、河川環境の美化保全と河川愛護思想の普及に取り組んでいます。

古川沼をきれいにする会

（昭和57年12月設立）

会長：廣田 匡克

構成員：108団体

昭和57年から古川沼や川原川等の清掃等を市民運動として実施しています。

また、水質保全に係る啓蒙事業や調査研究など多彩な活動を展開し、河川環境の美化保全と河川愛護思想の普及に取り組んでいます。

お知らせ

カスリン・アイオン台風60年事業開催中!

県土整備部パネル展第1弾

昭和22年9月のカスリン台風、昭和23年のアイオン台風により、北上川とその支川が氾濫し、岩手県内は2年連続の大水害に見舞われました。今年カスリン台風から60年の節目の年を迎えるにあたり、当時の水害を風化させず後世に伝え、災害に強い地域づくりを考える機会とするため、60年事業を実施しています。



県では、下記の日程によりカスリン・アイオン台風60年洪水写真パネル展を開催中です。これから夏休みを迎えますので、お子様と一緒に、ぜひご家族でご覧下さい。

また、9月には様々な行事も予定しております。異常気象や地震による被害が相次いで発生している今、行事に参加し改めて災害に強い地域づくりについて考えてみませんか?

《カスリン・アイオン台風60年 洪水写真パネル展》

開催期間	開催場所	開催時間
7月31日(火)～8月7日(火)	花巻総合支局 県民室	8:30～17:30
	久慈地方振興局 県民室	8:30～17:30
8月9日(木)～8月21日(火)	宮古地方振興局 県民室	8:30～17:00
	二戸地方振興局 県民ホール	9:00～21:00 土日も見学可
8月23日(木)～8月30日(木)	県庁 県民室	8:15～17:45
	盛岡地方振興局 県民室	8:30～17:00

一関総合支局でのパネル展



今後の
メイン
行事

カスリン・アイオン台風60年治水大会

9月15日(土) 13:00～17:00 ベリーノホテル一関

とうほく★地域を守る防災コンテスト2007

9月16日(日) 10:00～14:00(予定) 一関文化センター

市民ミュージカル「今伝えよう一関の年輪」

9月15日(土) 16日(日) 14:00～16:00 一関文化センター

問い合わせ先

河川課 TEL019-629-5901

8月は「道路ふれあい月間」!

8月10日は「道の日」です!!



この機会に、道路の大切さをもう一度見直してみませんか?
道路はみんなの財産です。マナーを守って大事に利用しましょう!

「道の日」とは?

普段、何気なく使っている道路は、私たちが生活していくうえでなくてはならない共有の財産です。

このことから、国では、道路とふれあい、道路の役割や大切さを認識してもらい、また道路に対するいたわりや慈しむという愛護の心を高めてもらうため、8月を「道路ふれあい月間」、8月10日を「道の日」(昭和61年～)と決めました。

★なぜ「道の日」が8月10日なの?

- ① 大正9年8月10日にわが国で最初の道路整備についての長期計画である第1次道路改良計画が実施されたこと
- ② 「道路ふれあい月間」(平成13年度より「道路をまもる月間」から名称変更)の期間中であること

に由来しています。

道の日を中心に、県内各地では、毎年さまざまな記念行事が開催されています。

今年度開催される主な記念行事は次のとおりです。

詳細は、それぞれの担当窓口へお問合わせください。



☆ 昔の道を歩いて現代の道路の重要性を実感!

第20回 旧釜石街道「仙人峠の集い」

— 遠野市・釜石市 —

- 日時
8月10日(金)10:30~15:00 (小雨決行)
- 内容
当時往来した旅人に思いを馳せ、広大な自然を楽しみながら街道最大の難所「仙人峠」を歩いて峠越えします。
- お問合わせ
釜石地方振興局土木部(0193-25-2714)
または遠野土木センター(0198-62-9938)

気仙歴史の道を歩いてみよう

高田遠野街道~竹駒・横田の史跡を訪ねて~

— 陸前高田市 —

- 日時
8月10日(金)9:30~14:00 (小雨決行)
- 内容
街道沿いの史跡を訪ねながら、およそ7kmの道を歩きます。休憩では地元産トマト・きゅうり等が振舞われます。
- お問合わせ
大船渡地方振興局土木部(0192-27-9919)

もうひとつの「塩のみち」

— 久慈市山形町 バッテリー村 —

- 日時
8月10日(金)10:00~12:00 (小雨決行)
- 内容
約3kmの旧伊保内街道を歩くほか、バッテリー村の木藤古村長の講演、当時運んでいた「塩の俵」を持つ体験もあります。
- お問い合わせ
久慈地方振興局土木部(0194-53-4990)

歴史の道「秀衡街道の(和賀)仙人峠を歩く会」

— 北上市・西和賀町 —

- 日時
9月7日(金)10:00~15:00 (小雨決行)
- 内容
「森の巨人たち百選」に選定されている樹齢約900年の「姥杉」や久那斗神社をめぐりながら峠を歩きます。
- お問い合わせ
北上市土木課(0197-64-2111)
西和賀町建設課(0197-82-3288)

☆ 安全・安心で快適な道路をいつまでも・・・



「道の日」イベント

— 一関市 —

- 日時 8月10日(金)
- 内容 産直センターひがしやま季節館、ふれあいむろね旬菜館、道の駅かわさきの3ヶ所でチラシ入りのティッシュを配布するほか、周辺道路や花壇の清掃活動を行います。
- お問い合わせ 千厩土木センター(0191-52-4971)

道の日 in 宮古

— 宮古市 —

- 日時 8月10日(金)9:45~11:00
- 内容 「宮古道路をまもる会」による街頭パレード
- お問い合わせ 宮古市道路管理課(0193-62-2111)

第7回「黄金ロードふれあい作戦」— 一関市 —

- 日時 8月10日(金)9:00~12:00
- 内容 平泉世界遺産登録予定地周辺を含む道路清掃
- お問い合わせ 一関総合支局土木部(0191-26-1418)

道の日・道路クリーン活動 — 宮古市 —

- 日時 8月2日(木)15:00~17:00
- 内容 宮古港線(小山田トンネル中心)の道路清掃
- お問い合わせ 宮古地方振興局土木部(0193-64-2221)

「道の日」道路清掃 — 盛岡市 —

- 日時 8月10日(金)17:45~18:30
- 内容 バスセンターから裁判所までの歩道清掃
- お問い合わせ 盛岡地方振興局土木部(019-629-6632)

北の道クリーン・キャンペーン — 二戸管内 —

- 日時 8月3日(金)
- 内容 二戸地方振興局管内の道路清掃
- お問い合わせ 二戸地方振興局土木部(0195-23-9209)

バリア点検・撤去 — 花巻市 —

- 日時 8月10日(金)
- 内容 花巻市街地路線のバリア点検・撤去活動
- お問い合わせ 花巻総合支局土木部(0198-22-4971)

道路清掃 — 岩手出張所管内 —

- 日時 8月10日(金)
- 内容 主に国道281・282号の道路清掃
- お問い合わせ 岩手出張所(0195-62-2888)



仙人峠の集い(H18)



気仙歴史の道を歩いてみよう(H18)

住まエネフェスタ2007と第3回住まいる講座を開催

建築住宅課

★★★★住まエネフェスタ2007★★★★

★★テーマ：“新”いわての暮らし博覧会★★

- 開催日時：平成19年8月31日（金）～
平成19年9月2日（日）
- 開催時間：午前10時～午後5時
- 開催場所：盛岡市アイスアリーナ
(盛岡市本宮字松幅100-1)
- 入場：無料
- 主催：岩手県、盛岡市、ゆとりある住まいづくり推進キャンペーンいわて実行委員会、いわてクリーンエネルギーフェア実行委員会
- 問い合わせ：TEL 019-623-4414 (開催事務局：岩手県建築住宅センターまで)
- 内容：住まいとエネルギーの体験型イベントのほか、「渡辺篤志」住まいのトークショー、人気キャラクターショー、岩手の民謡ショー、大もちまき大会など楽しいイベントが盛りだくさんです。ぜひご来場ください。



★★第3回住まいる講座「未来の街づくり」★★

- 講師：佐藤 慎也 氏 (山形大学地域教育文化学部 准教授)
- 開催日時：平成19年8月31日（金）
- 開催時間：午後3時～午後4時30分
- 開催場所：盛岡市アイスアリーナ2階会議室
(盛岡市本宮字松幅100-1)
- 入場：無料 (住まエネフェスタ2007内で開催)
- 主催：(社)都市住宅学会東北支部、いわてハウジングフォーラム、岩手県
- 参加申込・問い合わせ：けんみん住宅プラザ
TEL 019-652-7744
- 内容：家や建築物が建ち、人が集まって“まち”になります。“まち”づくりは家と人の相乗効果で行われます。今回は今までの“まち”づくりのデータを参考に、未来の“まち”づくりについて盛岡市出身の講師と一緒に考えます。皆様の参加をお待ちしています。





土砂災害写真パネル展を開催します！

～ NPO との協働 ～

県土整備部パネル展第2弾

砂防災害課

Tel019-629-5922

土砂災害は毎年全国各地で発生し、私たちの生活に大きな被害を与えています。今年には九州地方を襲った「台風4号」や「新潟県中越沖地震」など、連日、災害に関する報道が後を絶ちません。

岩手県においても、過去30年の間に約400件の土砂災害が発生しており、近年では平成14年に釜石市松原地区で発生した土石流により、二人の尊い人命が失われています。

しかしながら、土砂災害に対する施設整備は全国的に遅れているのが実態です。本県も例外ではありません。県内には土砂災害危険箇所が14,348箇所もあり、住民が安全かつ安心して暮らせるようになるには、まだまだ時間がかかります。

こうしたことから、土砂災害から尊い命を守るには、行政と住民が互いに協力し合い、「有事の際に住民自らが判断し、自主的に避難する体制」を築き上げて行くことが必要不可欠です。

今回の災害写真パネル展は、県内外で発生した土砂災害や防災関係機関の取り組み等を紹介し、一人でも多くの方々に防災に対する理解と関心を持っていただくことを目的として「NPO法人防災ネットいわて」と協働して開催するものです。皆さん是非一度足を運んでみてください！

担当者

砂防災害課 砂防担当
主任 亀田 健一



(北上市出身)

白龍のじゃじゃ麺が大好きです。

常連の証「白龍タオル」を持っています。

(ちょっと自慢)

開催期間・場所

期間：平成19年9月3日(月)～9月7日(金) 8:30～17:00

場所：岩手県庁1階県民室

展示内容

- ・ 岩手県の地質
- ・ 土砂災害の前兆現象
- ・ 過去に県内外で発生した土砂災害の写真（がけ崩れ、土石流、地すべり等）
- ・ 釜石市の防災訓練状況写真
- ・ 気象台と連携した土砂災害警戒情報の概要
- ・ 土砂災害防止法の概要 など



昨年度のパネル展の様子1



昨年度のパネル展の様子2



NPO 法人防災ネットいわての皆さん



平成14年7月に釜石市松原地区で発生した土石流災害（2名の尊い命が奪われた）



平成18年8月に雫石町御神坂地区で発生した土石流災害

岩手の土砂災害写真パネル展
 展示期間：8/28(月)～9/1(金)
 11 WORLD EXHIBIT

土砂災害の現場写真を紹介しながら意識啓発を図るパネル展

土砂災害写真で警告
 盛岡で 雫石の土石流も展示
 NPO法人 特定非営利活動法人を、写真パネルで紹介している。また、盛岡市内（NPO法人）の防災ネットいわて（理事長・井真次道也岩手大助教授）は、二十八日から九月一日まで、盛岡市の県庁一階市民室で「岩手の土砂災害写真パネル展」を開いている。

地質調査などに携わる民間の専門家ら十三人でつくる同NPO法人は、今年二月に設立された。写真パネル展は、土砂災害に関する知識の普及を目的とするNPO法人による初の主催イベント。八重樫栄副理事長は「土砂災害の危険性は意外と知られていない。事前に原因や起きやすい場所を知っておくことが大切」と企画の意図を語っている。

昨年度のパネル展の報道記事
 (岩手日報 平成18年8月29日朝刊)

岩手のNPO

身を守る知識 普及を目指す

防災ネットいわて (盛岡市)

2006年2月15日設立。岩手県は盛岡市みちのけ4丁目4の30、県土+55407-1000、TEL 019-643-8890、FAX 019-643-8892、ホームページ www.npo-net-iwate.jp

NPO 法人防災ネットいわてを紹介する記事
 (岩手日報 平成18年9月3日朝刊)

問い合わせ先

砂 防 災 害 課 019-629-5922
 NPO法人防災ネットいわて 019-643-8890

9月10日は、下水道の日

下水の終着駅をちょっとのぞいてみませんか？

「下水道フェスタ'07」を開催します！

「下水道の日」とは？

下水道の普及を図ろうと、1961年（昭和36年）に「全国下水道促進デー」として始まり、2001年（平成13年）により親しみのある名称として「下水道の日」に変更されました。

9月10日に定められたのは、下水道の大きな役割の一つである「雨水の排除」を念頭に、台風シーズンである210日を過ぎた220日（立春から数えて）が適当であるとされたことによるものです。

9月10日を中心とした前後1週間の間、全国の様々な場所で各種催しが展開されます。

岩手県においても、北上川上流流域下水道事務所が管理している4つの処理場のうち、都南浄化センターにおいて「下水道フェスタ'07」を開催します。

「下水道フェスタ'07」の内容は次のとおり。子供から大人まで楽しみながら下水道や環境について理解を深める事ができる企画を準備しています。

皆様の参加を心からお待ちしています。

「下水道フェスタ'07」

開催日時	9月8日（土）
開催場所	都南浄化センター
住 所	盛岡市東見前3-10-2
主な実施内容 （予定）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設見学（下水の流れに沿ってご案内します。） ・ 楽しく学べる環境体験イベント ・ 下水道に関するパネルや機械の展示説明 ・ 景品がもらえる下水道スタンプラリー ・ 下水道をテーマにしたパソコンゲーム ・ 下水をきれいにしている微生物の観察会 ・ 廃油キャンドル作成などの体験 ・ スーパーボールすくい ※ 来場者にはチューリップ球根などの記念品をプレゼント（お子様にはヘリウム風船など）。また、ポップコーン、わたあめ、冷たいお飲み物等の無料サービスなどもございます。 ・ 近隣住民団体による演舞 （数団体を予定）

○ 問い合わせ先（主催）

財団法人岩手県下水道公社 企画管理課 （電話 019-638-2623）

○ 昨年の「下水道フェスタ'06」の様子



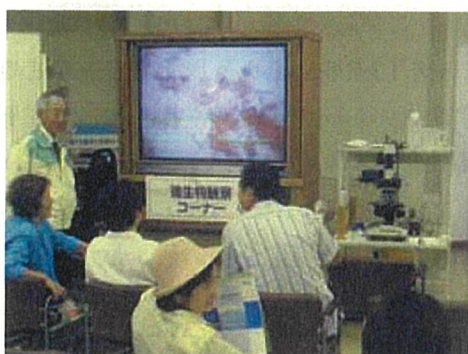
開場式の様子



受付



下水道スタンプラリーの抽選



微生物観察会



下水道ツアー（最終沈殿池）



下水道ツアー（管廊）



下水道関連企業の展示・体験



下水道パソコンゲーム